

| 実践校に関する事項 | | |
|---|--------------|----------|
| 学校区分 | 学校名 | 学校長名 |
| 中学校 | 田辺市立秋津川中学校 | 手嶋 由美子 |
| 学校所在地 | | |
| (〒 646 - 0102) 和歌山県田辺市秋津川652番地の1 tel 0739 (36) 0006 fax 0739 (36) 0006 | | |
| 担当者名 | | 役職名・担当教科 |
| 手嶋 由美子 | | 校長 |
| <p>〔学校の概要〕</p> <p>本校は、田辺市役所連絡所、公民館、診療所、保育所、小学校等に隣接し、秋津川地区の中心的位置に立地している。生徒数は年々減少しているが、住民の学校教育への関心と熱意は高く、学校の諸活動に大変協力的で、様々な支援・協力をいただいております。学社融合の取組が進んでいる。</p> <p>令和5年度の生徒は5名と非常に少ないが、学習、学校行事、生徒会活動、地域行事等に意欲的に取り組むことができている。</p> | | |
| 研究実践に関する事項 | | |
| 対象者児童・生徒 | 学習支援者等（延人数） | 主な活動場所 |
| 全学年 5名 | 8名 職員 8名 | 熊野古道 |
| 実践研究テーマ | | |
| 世界遺産「紀伊山地の霊場と参詣道」について知り、ふるさと和歌山への理解を深める | | |
| 実践教科等名 | 単元名 | |
| 総合的な学習の時間 | 和歌山の世界遺産を知ろう | |
| 〔キーワード〕 世界遺産学習 地域学習 熊野古道 ふるさと秋津川 | | |
| <p>〔単元目標〕</p> <ul style="list-style-type: none"> 世界遺産について学んだり、熊野古道を歩いたりすることで和歌山県の世界遺産への理解を深める。 世界遺産学習を通して、あらためてふるさと秋津川を大切にする心や地域理解を深め、今後の行動について考える。 | | |
| <p>〔学習に当たった全学習時間数（世界遺産学習に関わる時間数及び 学習活動名／教材名）〕</p> <p>全体 4 時間 （「世界遺産「紀伊山地の霊場と参詣道」について学ぼう」 4 時間）</p> | | |
| <p>〔地域および文化財管理者等との連携の実施状況〕</p> <p>和歌山県世界遺産センターで職員の方から世界遺産についての授業を受けた。 三軒茶屋跡から熊野本宮大社までの熊野古道を歩きながら、世界遺産マスターの方から説明を受けた。</p> | | |

| 実践校に関する事項 | | | |
|---|-------------------------------------|--|-------|
| 〔单元指導計画概要〕 | | | |
| | 主な学習活動 | 学習への支援 | 評価方法等 |
| 1 | 事前学習（本校） ・世界の世界遺産と日本の世界遺産について知る。 | ・世界遺産についての知識・理解を深められるように支援する。また、理解しやすいようにプレゼンファイル等を使い、クイズ形式等も取り入れる。 | ・観察 |
| 2 | ・世界遺産講座（世界遺産センター） | ・世界遺産センターの職員から、世界遺産の歴史や「紀伊山地の霊場と参詣道」の概要・歴史についての授業を受ける。その中で生徒の発言等がスムーズになるように学習支援を行う。 | ・観察 |
| 3 | ・現地学習（三軒茶屋跡～熊野本宮大社） | ・世界遺産マスターの方にガイドをしていただきながら、三軒茶屋跡から熊野本宮大社まで現地学習を行う。 ・世界遺産マスターの方の説明内容をきちんと聞けるように前もって事前指導を行う。 | ・観察 |
| 4 | ・振り返り | ・今回の世界遺産学習を振り返り、ふるさと和歌山の魅力への知識を深める。 ・和歌山の魅力再確認をするとともに、ふるさと秋津川を大切にする心を育てる。 | ・観察 |
| 〔单元学習の成果と課題〕 | | | |
| <p>成果</p> <p>世界遺産学習を実施する前は、中学生はあまり世界遺産について知らないのではないかと考えていたが、結構知識があるようだった。そのためか、事前学習に意欲的に取り組み、当日の現地学習で多くを学ぼうと興味をもって話を聞いたり、質問に答えたりしていた。今回初めて参加した次世代育成事業の学習を通して、ふるさと秋津川に対してはもちろんだが、和歌山の理解を深められたと感じている。</p> <p>課題</p> <p>令和5年度は、地域行事その他多くの行事が復活し、生徒も教員も余裕をもって学習に取り組むことができなかつた部分があった。来年度以降は、学校内でも取組をさらに深めていけるような準備をしていければと感じている。</p> | | | |
| 〔世界遺産学習の効果〕 | | | |
| <p>世界遺産学習をすることによって、地域、保育所、小学校、中学校で実施している「備長炭のふるさと『秋津川』ウバメガシの森づくり」への理解や意欲の高まりを感じることができている。</p> | | | |
| 〔世界遺産学習の今後の方向性及び改善点について〕 | | | |
| <p>和歌山県に世界遺産があるということは、中学生にとって生きた学習をすることができるので大きな意味を持つと考えている。これまでは、基本的に「ふるさと秋津川」を中心に備長炭や梅、ウバメガシの森作りについての学習を行ってきた。今後は、今回のように世界遺産を歩くことで「ふるさと和歌山」「ふるさと田辺」をさらに意識して学習を進めていくことができれば良いと考えている。</p> | | | |

様式 2

令和5年度 「次世代育成事業」における学習記録

[概要報告書 学習記録・活動写真]

世界遺産についての学習（10月24日）

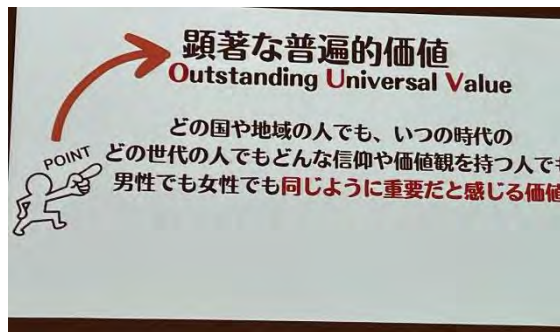
日本には世界遺産がいくつあるのか、この世界遺産はどこにあるのか、世界遺産はどの国が一番多いのかなどについてクイズ形式で考えたり、世界遺産の意味や10月31日に歩く世界遺産「紀伊山地の霊場と参詣道」について学んだりすることで世界遺産について考えた。



世界遺産講座（10月31日）



世界遺産センターの土永さんから、世界遺産についての授業を受けた。



世界遺産の価値について、しっかり学ぶことができた。



現地学習（10月31日）



バス停に到着 ここから三軒茶屋跡へ



世界遺産マスターから説明を聞く

道普請についての話を聞く



熊野本宮大社にて



お礼のあいさつ



今日は世界遺産学習をしてみて、世界遺産に認定されるまでの過程や条件などを知ることができた。また、実際に熊野古道を歩いてみて、たまには歴史にふれてみたり世界遺産を見たりすることも大切だと思った。